一商鉢山会会報

はちやま

題字：黒田 保先生

平成25年9月第49号

発行所
同窓会事務局

会長就任のご挨拶

菊池　敏郎（32期）

本年度の同窓会総会に於いて、大槻實会長のご指名により新会長に選任された菊池です。伝統ある一商同窓会の運営に関われる光栄に感謝すると共に、責任の重大さを感じております。

同窓会の目的は、同窓会会員全員の親睦と交流を図り母校の活動を支援することにあります。

平成30年に母校が創立百周年を迎えるにあたり、我が同窓会の活動が同窓会会員全員の満足のいくものであり、また母校の支援が効果的に行われるように努めてまいります。

一、会員へのサービス活性化

①同窓会会員の把握と女性の協力、参加の推進

昨年からの名簿整理により、今年5月の会報は今年度卒業の90期までの全期に亘りお届け出来るようになりました。これによりクラス会や同期会がより多く開催されることを期待しております。又、女性の役員の増加と行事への積極的参加を呼び掛けてまいります。

②ホームカミングデーの設定

ホームカミングデーとは、卒業生が母校に集い母校愛と友情を確認することです。今年から始めて在校生とも交流を図ります。ご友人とお誘いあわせの上参加頂きたく盛会を期待しております。総会も毎年6月の第一土曜日に原則として母校一商にて行います。

③多くの催事・行事を企画し皆様の参加を募ります。

昨年までは、校歌祭への参加・ゴルフ会の実施をしてきました。今年からは、健康的なウォーキングの企画や文芸分野の会などを設定していきます。多数の方々の参加をお待ちしております。なお、この情報提供などの広報活動にも工夫してまいります。

二、母校への活動支援

①母校への継続的支援

従来から生徒募集・就職対策・部活動奨励の支援を行ってきましたが、昨年は資格取得奨励を新設しました。また、母校が防災教育推進校に指定されたことにより東日本復興支援も行うこととなりました。母校とのコミュニケーションを高め今後とも継続的な支援を行ってまいります。

②百周年記念事業の企画・援助

母校百周年記念事業の円滑推進のため、母校、PTAと同窓会での準備委員会が七月一日に発足致しました。同窓会として、出来る限りの協力をしてまいります。

三、組織体制の強化と事業資金の確保

①同窓会本来の活動の活性化

同窓会の執行部の中に総務・財務・広報・親睦・企画委員会のほか、記念事業の企画支援や記念誌編集・出版等のための歴史資料と記念誌編集委員会を設置しています。事務局を充実させ、これからの委員会活動と会員サービスを支援していきます。また、各クラス代表の理事と期の代表の常任理事を明確にし、人材確保と組織強化を図ります。

②財政基盤の整備

同窓会の運営は、会員の皆様からの年会費・賛助会費と卒業生からの終身会費（平成28年からは先払い年会費）によって支えられています。昨年から年会費制をスタートさせています。終身会費も改訂しています。会員への活動拡充のための広報・調査・サービスの強化などの年間費用の増加に加え、百周年記念事業用に多額な資金の必要が予想されますので、来年より記念募金会を立ち上げることになります。会員の皆様のご理解ご了承を願う次第です。

③事務局の移転計画

現在の神田の事務所は、会員の会合や事務連絡、母校との連携などに不適切です。より良いサービスの提供や同窓会の本来のあるべき姿として、渋谷への移転を考えます。

以上、同窓会として多くの会員へのサービスの向上について述べました。これからの改革のため、会員皆様のご理解ご協力を切に願う次第であります。

平成25年度　同窓会役員

会　長　※菊池　敏郎（32期）
副会長　歴史資料委員長　石田　謙司（37期）
常任理事　〃　副委員長　大森　東亜（37期）
副会長　記念誌編集委員長　石田　謙司（37期）
常任理事　〃　副委員長　大森　東亜（37期）
副会長　総務委員長　中澤　捷雄（39期）
常任理事　〃　副委員長　小池　宜夫（39期）
常任理事　〃　副委員長　石井　敏勝（40期）
副会長　財務委員長　※山本　剛（41期）
常任理事　〃　副委員長　倉見　義弘（42期）
副会長　広報委員長　山崎　松夫（46期）
常任理事　〃　副委員長　岩佐　芳一（45期）
副会長　親睦委員長　※松森世津子（41期）
常任理事　〃　副委員長　※芥川　英子（41期）
常任理事　〃　副委員長　市毛　桂子（41期）
副会長　企画委員長　※佐藤　房子（42期）
常任理事　〃　副委員長　熊田　芳子（42期）
副会長　事務局長　井上　七郎（39期）
常任理事　〃　次長　落合　春代（43期）
常任理事　〃　次長　中林　雅一（46期）

注※印　校歌祭実行委員
監　事　小林　三郎（30期）
監　事　粕谷　幸男（45期）
監　事　鵜沢　正二（45期）
相談役　寺口　眞夫（28期）
相談役　高橋　慎三（28期）
相談役　大槻　實（30期）
相談役　機所慶三郎（34期）
相談役　白川　健二（35期）
相談役　坂下　賢三（35期）
相談役　西村　和子（35期）

同窓会会長辞任の挨拶

先般、六月二十三日の平成二十五年度定時総会に於きまして、五年の長きに亘りました会長職を辞し、副会長及事務局長でありました菊池敏郎氏に後任をお願いすること、御承認を戴きました。

前会長であった海老名康治氏が、体調がすぐれぬままに任期半ばで当時副会長でありました私に後任を依頼されました。

この五年間恙なく会長職を続けて参りましたことは、一重に皆様方各位の御指導御鞭撻に他なりません。

本当に有難うございました。

会長職を辞しましても、これから母校一〇〇周年の記念行事に向かって微力ながら応援させて戴きたく思っております。

いずれの皆様にも、よろしく御配慮の程お願い致します。

長い間、いろいろと有難う御座いました。

平成二十五年六月吉日

前同窓会会長　大槻　實

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

商業高校卒の力

校長　戸田　勝昭

高校生の就職問題は、五大新聞の一面に掲載されるほど全国的に大きな社会問題となっています。昨年度は、一昨年度と比較してわずかではありますが就職内定状況が改善されました。しかし、高校生の就職が厳しい状況に変わりはありません。

一昨年度、昨年度と全国的に就職戦線は、厳しい状況が続いておりましたが、今年度は、わずかではありますが、心地よい風向きの方向に改善されつつあります。「十年振りに高校卒求人を再開しました」「はじめて高校卒求人をお願いに来ました」という企業担当者の来校もあり、高校卒求人数は増えつつあります。

私が、教諭時代に教えた生徒が東京都職員となり、今年度から都立高校の経営企画室長（事務長）に昇任しました。彼女は、異例の若さでの昇進です。また、都庁本庁水道局の係長級や会計管理局の係長級の職員に昇進した彼女たちも同級生です。さらに、二歳上の先輩は、都立高校推薦入学選抜制度の大幅な改革を執行責任者として教育庁で辣腕を振るいました。彼女も同年齢のときに抜擢され二年間で実績を築き、現在は都議会対応を任されています。四名とも大学に進学していません。皆さまもご存知のとおり、東京都の職員は、難関大学、大学院卒業生が数多く入都しています。そうした中での快挙なのです。

商業高校卒の学歴で、ホテルの支配人やテレビ局の理事をはじめ、水産会社の監査役、繊維会社の人事部長、印刷会社の工場長、建設会社の本社部長、スーパーマーケットの支店長等、数多くの方々が産業界で活躍しています。

昔のＯＢだけでなく、若手の商業高校卒業生も頑張っています。Ａ社に入社した二十一歳の卒業生は、アルバイト約四十名を指揮して、千葉県全域の七百店舗のコンビニエンスストアーを任され、雑誌の配送やマーケティングを担当して、若手の有望株として期待されています。Ｂ社に入社した二十歳の卒業生は、同期入社の大学卒、専門学校卒、高校卒の中で接客実績はナンバーワンだそうです。Ｃ社に入社した十八歳の卒業生は、社内研修で評価され、男子社員四十名の中に女子社員一名という部署に配属され、営業事務を補佐して活躍しています。再認識していただきたいことは、中学時代に活躍する機会が少なかった生徒であっても本人のやる気と頑張り方次第では、将来、無限大に伸びるということです。

一商は、東京都を代表する商業高校であり、なおかつ光輝ある伝統と歴史を誇る名門校であります。私たちが知らないだけで業界のあらゆる場所で活躍されている方が数多く存在していることと存じます。

本広報誌を通じて一商ＯＢの方への切なる願いとして、一商の卒業生で三十歳台から五十歳台で活躍している方を学校に紹介してくださると幸いです。また、一商ＯＢの人材を発掘して同窓会への更なる発展へと寄与できればと考えています。さらに、今後一商に入学を希望する中学生、保護者、地域、特に教育行政関係者や企業関係者の方々に「一商ってすごい学校なんだぞ」とお知らせしていただいて一商を受験する生徒を増やしていただければと思っています。

話題を元に戻しますと、一商への高卒求人数増加の課題としては、「高卒採用のよさ」を食べず嫌いの企業にどう説得して求人開拓を図っていくのか、という大きな問題が依然として残されています。

一商ＯＢには、必ず大手企業の人事部に勤めている方がいることと思います。ＯＢの方々の英知をお借りし、ご協力をいただきながら求人数増に繋げて行きたいと考えています。

大変難しいお願いではございますが、これらの趣旨を踏まえてご協力とご支援のほどを重ねてお願い申しあげます。（兼務・全国商業高等学校長協会理事長）

東日本大震災から学んだ大きな教訓

校長　戸田　勝昭

本校は、二十四年度、東京都教育委員会から「防災教育推進校」に指定されました。東日本大震災の経験を踏まえた防災に対する意識が高まる中、自校の防災と近隣住民の安全を支え、社会貢献に対する意欲と実践力を持つ人間を育成するということで、12校の都立高校が指定されました。

本校ではこれまでも、1年生生徒の全員参加による本校校舎内での宿泊訓練、渋谷消防署松濤出張所の全面的協力による様々な防災訓練を実施してきました。生徒たちも高校生として、今、地域防災の担い手になり、軽可搬消防ポンプの操作、応急手当の中でも特に心肺蘇生、ＡＥＤの操作、

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

止血法等、こういったものを確実に行える能力を身につけつつあると思います。

生徒たちには高校卒業後も、地域、社会に貢献できる人となり、特に災害時にあっては、積極的にボランティア活動に参加し、さらに、地域の自主防災組織の一員になってもらいたいと思っています。

私たちは、東日本大震災の被災地を訪れるにあたり、宮城県石巻西高等学校長　齊藤幸男先生より事前にいただいた資料『防災教育資料「忘れないこと」「伝えること」「育てること」』を基に本校の教職員や生徒とともに事前学習をして臨みました。さらに、「逆境を生き抜く―石巻地域公立高等学校の震災記録集―」を拝見させていただき、ページをめくるごとに自分の無知を悟ったことを覚えています。「どのような心構えで参加すべきなのか」など思い悩む日々が続きました。皆様にもその一端を感じていただければと思いまして、記録集より一部抜粋させていただきます。

「漁業者の間には、津波が予想される場合に、いち早く船を沖合に退避させる沖出しという言葉があるという。その箴言に従い沖合に難を逃れ九死に一生を得たその漁業者は、家屋などの残骸と共に、海底に凄まじい勢いの引き波によって奪われていく命を目の当たりにし、手を合わせながら慟哭し続けたという。平成23年3月11日の大震災は、間近で生と死が隣接し、自然の容赦ない猛威の前に命を失った方々の無念さと、生き残っても癒され難い心痛の混交した凄惨な状況でした。(中略)石巻地域(石巻市、東松島市及び女川町)は、宮城県内でも特に被害が甚大で、街全体が壊滅的な被害を受けた地域もあり、その崩壊は筆舌に尽くしがたい惨状でした。また平成23年10月1日現在の石巻地域の死者と行方不明者を合わせた数は5，655人にものぼり、宮城県全体11，573人のほぼ半数を占めるに至っています。学校にとって主人公である生徒を失うほど悲劇的なことはありませんが、石巻地域の公立高等学校においては、行方不明者を除き44名の生徒と2名の教職員の尊い命が失われました。(逆境を生き抜く―石巻地域公立高等学校の震災記録集―巻頭言より)」校長という職務上、様々な視察や研修を経験してきましたが、今回ほど厳粛な気持ちで臨んだ視察、そして、教員および生徒の引率は、記憶にありません。

全校集会で1泊2日の「東日本大震災被災地視察」の意義を伝え、参加する生徒に対しては、全員に面接を実施して「防災リーダー」としての自覚を確認しました。夏季休業中には、参加する生徒全員に、4日間の事前学習を課しました。その上で、私と本校の教員5名、生徒15名の総勢21名で1泊2日の宮城県石巻西高等学校および石巻市及び女川町周辺を中心に視察に臨ませていただきました。

今回の東日本大震災被災地へ生徒を連れて訪れた目的は、一つは東日本大震災によって未曾有と言われている多大な被災を受けた被災地に赴き、災害への認識を改め、生徒たちに防災への一層の認識を深めさせること。もう一つは、現地の高校生と交流し、意見交換を行うことで、高校生ができる被災地での活動や、今後の防災について考えさせることです。生徒一人ひとりに目的を十分に認識させ、視察に臨みました。さらに、本校は東京都においても「防災教育推進校」となっており、学校全体で災害対策の取組みを行い、災害時には一人でも多くの生徒が、マンパワーとして活躍できる人材を育成していくことを念頭において、本事業に取組みました。

帰京し、貴重な体験を本冊子に綴らせていただきました。生徒の感想文を読んでいただければ、皆様には、今回の視察研修で成長した生徒がいることがご理解いただけると思います。

東日本大震災から1年9ケ月が経ちました。石巻地域(石巻市、東松島市及び女川町)は、未だに一面を見渡せる大地が広がっている一部の地域が存在しておりますが、地域の皆さんのたゆまざるご努力によって着実に復興を遂げつつあります。

今回勉強させていただいたことは、全員が協力して震災後の避難生活に当たることの大切さです。当日の被災した方々への応急手当等の様々な対応も大切で大変なことですが、特に被災後から約1ケ月間をどのように災害医療、支援関係、心のケア等に対応するか。東京で同程度の地震が発生した場合なども想定して備えておく必要性を強く感じました。

生徒たちには齋藤幸男校長先生からお話しいただいた『防災研修会「忘れないこと」そして「伝えること」』を、純粋に強い思いをしっかりと受け止めて、伝え続けてほしいと思います。また、本校の生徒たちのような学習や体験を積んだ高校生がどんどん広がっていくことにより東京都の「防災力」、わが国の「防災力」が高まっていくと信じています。

最後に、宮城県石巻西高等学校長の斎藤幸男先生には、被災地で勤務され大変な中、本校の生徒たちに貴重な御指導を賜ったことに深く感謝申し上げます。

また、「防災教育推進校」として被災地に赴く機会を与えていただいた東京都教育委員会に対しましても、御礼を申し上げます。そして、被災地の一日も早い復旧・復興に加え、以前にも増した防災力の強い都市を築きあげられることを念じ上げます。

(視察記録集「願」より抜粋)

前号から引き続き29期生の海口頼久さんが書かれた「戦後の一商」を掲載させていただきます。前号でもご紹介させていただきましたが、この原稿は、一商有志の会「鉢山クラブ」の会報に掲載されていたものです。わかりやすく、そして大変貴重な記録文です。ご本人の了解をいただき同窓会会報に掲載させていただく事となりました。正確なデータに基づき綴られた戦後の一商の姿、どうぞじっくりとお読みください。

旧制最後に入学の一商生（その2）

海口　頼久（29期）

【新校舎成り　復興祭を挙行】

昭和二十二年七月鉢山に全生徒が一堂に会せる待望の新校舎が完成しました。

各教室・教員室はもちろん、講堂、図書室、理科室がある当時としては総合校舎でした。武市校長は当時をふりかえり次のように言われております。

「苦難にみちた戦後の一商に明るい陽光がさしたのはバラックながらも一応の校舎落成をみたことである。懐かしい鉢山の岡に、鰻の寝床のような教室が完成し、分散授業の不便も解消し、全校生徒が一堂に会したときの感激は、恐らく一商の歴史の中で最高のものではなかろうか。」

新校舎完成に先立って、前年夏に第一期工事で鉢山の一角6教室と宿直室・小使室ができて当時の二年生が使っていましたが、まさにこの校舎を含めて木の香かおる木造校舎でありました。上原の校舎から引越しする「生徒の眼は期待と喜びで輝いていた（武市校長）」と当時の状況をいわれております。

新校舎の落成により、その9月復興祭が次の通り催されました。

9月27日　式典　学芸会
28日　運動会　同窓会総会
29日　学芸会　保護者会

復興祭はにぎやかに行われました。武市校長作詞広岡先生作曲「復興祭」の歌「わが学び舎は新たに建ちぬ」が高らかにうたわれました。全期間中には「展覧会」「参考品展覧会」「食堂」が開催されてにぎやかに祝われました。

このときの感激を「何といっても流浪の生活から鉢山に戻れたのは、当時の職員生徒が生涯忘れ得ぬ強い想い出である」と武市校長が述べておられます。

この復興祭では、展覧会は美術部、書道部、物理部、生物部、地学部などが、学芸会は合唱部、音楽部、劇研部などが参加して祭を盛上げました。復興祭には直接関係しなかった部活動として、体育部関係では卓球部、野球部などがあり、学芸部関係では語学部、珠算部、商業実践部などもありました。

全生徒が一堂に会した復興祭以降、一商全体の活動が華々しく展開するきっかけとなりました。

運動会はもちろん、日大プールを借りて水泳大会、上原近辺までの往復駅伝、新制中学校を招いた珠算大会、語学発表会など学内催事が行われました。

戦後の民主化の一環として、校内自治活動としてホームルームがおかれ、学団を自治会に切り替え生徒会とし、学団長・副団長が自治委員となり、その互選によって西川さんが生徒会長に選任されました。

（右上）盗難予防のため一枚ずつ窓ガラスに「一商」と書いた。
（左上）新校舎落成、復興祭のポスター
（下）正面付近からの新校舎　（一商40年の歩みより）

校友会活動では、放送部が生まれ、文芸部に新聞班を設け一商新聞が発行されるなど広報的な部活動も生まれました。各部活動が活発に行なわれるようになりました。同時に、対抗試合や各種競技会など対外的活動も広げてゆきました。当時は文部省の指令で、食糧や宿泊の事情で全国レベルの競技会や会議などが制限され関東地区大会レベルにとどめられていました。

卓球部が立教大学主催の全関東大会で岸さんが個人優勝し（前回掲出）、野球部も軟式の部で上位にまで進出するなど名声を挙げ、珠算部でも関東地区大会高校の部で、矢口・諏訪・醍醐・大川・弓削さんの一商の高校団体が惜しくも芝商に敗れはしましたが準優勝するなど活躍が目立ちました。残念ながら中学の私たちは、個人的に総合、種目別に賞をとっても団体では入賞できませんでした。

このように校友会の部活動が盛んになりましたが、地道に活動を進めていた部もありました。たとえば地学部は、藤山先生指導のもと地質調査や鉱石採集など行ない指導をされていました。秩父の鉱石や甲府の水晶、伊豆大島の陥没カルデラの調査と火山弾収集など前夜発での調査旅行は本当に楽しい時間でした。私のコレクション癖がはじまったのが、この鉱石サンプル収集でした。

【私たちの新校舎勉学と活動】

新校舎の落成なって、私たち学童疎開世代にとって本当に自分たちの心の落ち着く場がえられました。これまで過ごしてきた、疎開での生活、爆撃で焼けた国民学校、入学時の猿楽の窮屈な教室、上原の仮住まいながらの僅かな幸せ。一商の本当の意味の復興を確信してスタートしたことを思い出します。

私たち二年三組は、講堂に向かう別建て三部屋のうち、渡り廊下にすぐの教室でした。授業に来られる先生がわたる渡り廊下のスノコの音が、廊下を歩くスリッパの音と微妙に違うのです。隣の教室の先生が講義する声も聞こえてきます。カンナくずを混ぜた薄い壁はいたずらに穴があけられます。冬には容赦なく寒さが入ってきます。窓は広い格子の窓ガラスで明るいのですが、窓ガラスが盗まれるということで、ガラス一枚一枚に「一商」の文字が緑色で書かれました。その文字は黒田流で、窓全体が一種まとまった図案に見えます。

中庭もできて植木も植えられ、陽当りもよく、小さな鉢山ガーデンです。

このようなバラックの教室でも本当に満足しました。先生方も新鮮な気持ちで講義されていたのではないでしょうか。

運動場も広く整備され、野球部は山手通り側にバックネットが張られ、排球部・籠球部、陸上競技部などはそのセンターのはずれで練習ができるようになりました。体操の時間には、のびのびと、思いっきり体を動かせるようにもなったのです。クラス対抗の野球試合ができるようにもなったのです。

本当の一商生活が、この新校舎と校庭によってはじまりました。

【一商伝統の教育

田園家塾・東光原清明原など】

正規の時間以外にホームルームが設置され、先生と生徒との対話や懇親会も催されてきました。そのために田園家塾が利用されはじめました。部の活動にも利用されました。田園調布から徒歩一五分の閑静な緑豊かな丘陵の建物です。

田園家塾－精神修養の道場－
生徒の精神修養の場として、昭和８年から昭和38年まで使用された

一泊二食の合宿形式ですが、食糧は自前でした。学外教育と懇談の場ではありましたが、解放気分が先立って騒ぎがひどくて家塾にお住まいの先生から叱られる組もありました。

もともと田園家塾は前校長金井先生が、教室・教科から解放された人間教育、人生教育の場の構想をもって建てられたものでした。教師と生徒、生徒間、先輩後輩などの人間的触れあいを求めて師弟寝食を共にして、塾庭の掃除（寺での作務　サム）、五勧文の朗唱、一汁一菜の粗食など仏教・儒教や各種求道の精神をもって行う神聖な場所であったと聞かされました。養生閣と称し、その養生閣の大太鼓が鳴らす音から始まる一日の緊張感が伝わるようでした。

田園家塾と同様に、伝統的な修練場として、世田谷の東光原、多摩川の清明原での農園作業が復活しました。先輩の話によると、昔は農園作業を怠るとゲートルのまま座らせられたそうですが、私たちにはそのような修練の場というより食糧生産の一助という考えでの奉仕でした。

農作業と言えば、戦後に代々木練兵場の跡地が解放されて一商で使用できるようになり、サツマイモを植えたことがありました。しかし収穫前になって、米軍の兵舎建築のためにブルドーザーで一瞬のうちに潰されてしまいました。　食糧難の時代です。悔しさいっぱいでした。それ以上にブルドーザーという巨大な機械に踏みつぶされたことが、アメリカに物量作戦で負けたことを思わせた悔しさのようにも思いました。

【中学三年生になって】

昭和23年（１９４８年）中学三年の春を迎えました。

私たちの学級編成は二年生の時は変わりありませんでした。三年生になる前あたりから疎開で帰京できた友人たちも加わり１組増えて６級編成となり、クラス替えがあって、担任の先生も変わりました（先生の敬称は略します）。

１組　２組　３組
杉村（国漢）東（英語）横山（社会）
４組　５組　６組
黒田（書道）佐藤（社会）田村（国漢）

三年の教室は第一期に完成した南側に直列した教室です。小使室（用務員室）から６組まで長い廊下で学年がつながりました。腰高の教室は、日照が入りにくく、少し暗い建物でした。

休み時間や朝の行き帰りには、１年２年同級の友とも賑やかにかわす挨拶や会話がはずみます。友人の紹介で友達の輪が広がります。

そんな中、池上線の吊革（通学で一緒）の親友でクラスが違ったT君が長く欠席しているからとのことで、杉村先生からの指図で彼の家を尋ねました。聡明で何時も明るく皆から尊敬されていた彼には両親がいなくてお姉さんの手で学校に来ていてその姉を助けたい一心で仕事をしていたとのこと。姉を思い遣る彼に私は心をうたれ、何もしてやれないジレッタサで、その夜は興奮して眠れませんでした。清く生きる彼の心の優しさ、温かさが今でも思い出されます。

杉村先生はいたく心配され、義務教育の中学卒業までよく面倒をみられ卒業させました。前年の鷹取山遠足の時の水難事故の救助といい、その他不良化一歩手前の生徒の指導や経済的に苦しんでいる生徒への支援など、杉村先生は公私両面でのご指導がありました。杉村先生のお宅に正月や夏の多摩川の花火大会に大勢がお邪魔するようになりました。

【この時代の世相】

まだまだ家庭の生活は「たけのこ生活」と言われるように苦しい状況でした。

戦災で生活物資を焼失し、当時も凶作で食糧不足が続き、戦後の社会経済は深刻な危機に見舞われていました。米よこせ運動もありました。生産力が低下し物資が不足して、インフレが進行して昭和二三年に一七二倍（昭和９～11年比）に達しました。食糧その他の家庭用配給品について、地区ごとに入荷量や価格などの情報がラジオで放送されるようになり、「スケソウダラ」ばかりが耳に付きまといました。

食糧はアメリカからの食糧援助（ララ物資、ユニセフ）があっても、遅配があり、多くの栄養失調者がでました。一切のヤミを拒否して配給生活だけに頼って栄養失調で亡くなった東京地裁の判事のことが報じられました。闇米を食べなければ生きて行けない悲劇でした。

食糧だけではありません。電力事情も悪かったです。昼間はなんとか電気が点くものの、夕方近くなると停電になります。供給量不足もありトランスの能力が低いとか言われていましたが、冬には本当に困りました。当時は電熱器が使われ始め、配給の小麦粉で焼く電気パン焼き

機も普及し始めていたのが拍車をかけていたのでしょうか。宿題があったとき、期末や中間試験のときには、ローソクをつけて本を斜めにして勉強したものでした。

私たち生徒は商家では店の手伝い、勤め人の家では食糧の買出しの手伝いをしていました。私の家は問屋でしたので山手線の一番電車で仕入先の工場から一つでも多く買って帰る手伝いをし、食品店の友達は一番に築地に駆けつけ父親に代わって仕入をして学校にゆき、学校が終われば早く帰って店の手伝いもしなければなりません。一商に通うだけでも楽しいのです。でも一商の友人の家はどちらかと言えば恵まれていた家庭が多かったと思います。

街には戦争の被害で家や家族を失った浮浪者や身寄りのない傷痍軍人の姿が多く眼にとまります。生徒の中には、世の流れ同様に不良化する者も出て、先生方の世話になった者もいたようです。先輩たちの話では、予科練崩れの者もいたようで、また新聞の報道に載るような事件に関与した者もいたようです。

そんなこともあってか、規律を重んじて校門に先生が立って、生徒の登校時間のチェック、ポケットの中や身体検査も行われました。なんと戦時中は、校門近くなると歩調をとれの号令で校門をくぐったとのこと、その復活を思い出すと先輩方が言われておりました。校庭での朝礼も行われるようになりました。

多くの人は電車通学でした。通勤地獄と言われるくらい混雑しておりました。窓から乗り込んだり、連結器の上に乗ったり、たとえ車両の中に入れても大人の間で息ができないほどでした。東京急行電鉄（ＴＫＫ）の名は「とてもこれでは殺される」と読みかえられたものでした。

学校の帰りには禁止されていましたが、ときには賑やかになってきた渋谷の闇市をちょっと覗いたり、ようやく建ちはじめたそば屋に立ち寄ったりもしました。本屋に新しい本や雑誌も売られるようになり、ベースボールマガジンなどの月刊誌、ざら紙に印刷された三国志などを競って買ったものです。街には映画も上映され始め、映画の主題歌「リンゴの歌」、「旅の夜風」など庶民の心を和ませる流行歌が流れ、「港が見える丘」「夢淡き東京」などが、笠置シズ子の「ブギ」が流れ始めてきました。またラジオでは、「鐘の鳴る丘」「向こう三軒両隣」「二十の扉」などの娯楽番組が、ラジオの進駐軍放送ＷＶＴＲではスウィングジャズも流れ、アメリカの生活の豊かさを思い知らされました。

手伝いで使っていた貴重な自転車が盗難にあって父親に怒られましたが、「自転車泥棒」というイタリア映画が上映されたのはそのあとすぐでした。ようやく、「鉄腕ターザン」「キューリー夫人」「カサブランカ」など輸入洋画も上映されるようになりました。

このように、世相もなんとか落ち着き始めていました。

昭和二十三年には東京裁判で東條英機ら戦犯の最終判決もありました。

前年に日本国憲法が施行され、米国の占領政策で経済民主化の一環として財閥解体を目指し、独占禁止法など戦前の法律などが大きく改正・整備が急速に進みました。また戦後処理として復員や引き揚げが開始され、ラジオ放送「尋ね人」も開始されました。明るいニュースとして、全日本水泳大会の四百ｍ自由形で世界新記録をマーク、次々に日本、世界記録を更新してゆきました。

政治経済や世相も徐々に好転してきました。

【中学時代在籍された先生がた】

当時の先生方は随分異動が激しかったようです。戦後処理や学制改革の一環として行われたのでしょうか、新制なった中学の校長や教頭先生として転出される先生がおられました。一方、武市校長は教育界で有名をはせていたのか、優秀な先生方を招き入れたようです。中には、市川先生、阿部先生のように一商卒業の先生も迎えられました。

中学時代での特徴ある学科や先生を紹介してみます。

新制高校・中学などへの転出

石田、榊原、大貫、私市先生などが新制の高校、中学に転出

社会科の先生方

社会科の先生方は、戦時中の軍国主義から戦後の民主化教育に代わり大変であったようです。憲法、世界史、日本史が塗り替えられ、戦後は教科書をぬりつぶしました。

英語科の先生方

敵国語とされて教科書もなく、ガリ版刷りの教科書つくり。市川（繁治郎）先生の着任は干天に慈雨とされた（東先生談）。市川先生は一商卒業後一年余を経ずして全国最年少で旧制大学・高専の高等教員検定試験に合格。

フィゲス先生を紹介、生粋の英語会話にあたられました。

数学科の先生

大貫先生はちょび髭をはやして、何時も鞭をもって講義。間違った答えや宿題を忘れると鞭で軽く叩かれ通し、怖いようで親しめる先生でした。「私は驚いたよ」と始まる私市先生は幾何では、「椀長規尺」を乱発、笑わせながら教える良い先生でした。

商業科の先生

学制改革で簿記は一年二年三年各年で簿記の原理などほぼ同じ内容で、精算表作りの繰り返しでした。商業経済では先生によって講義内容が異なり、産地問屋からの配給経路、配給論など興味がもて、楽しかったと思いました。学制改革での移行期ならでしょうか、一商の商業科の先生（神納・国芳・阿部・黒田）が中心となって、副読本を書き始められました。ただ汚点でしたのが山田三郎先生。ヤマサブと生徒たちに嫌がられた先生です。アルバイトなのか、株式の売買なのか、正規の時間に来ないで、放課後や空時間にその補講として時間をとり、生徒や先生方から批判され、クラス全員が集団脱走したものでした。担任の田村先生と立ち合いで話し合いました。

珠算科の先生

稲垣先生が夜間の教頭先生に転じられました。珠算大会での読み上げは、ラジオでも放送され、全く魅了しておりました。書籍や演習帳も多く、川村寛治（後に三菱銀行などで講師）山本

長五郎（芝商）先生とともに全国に知られた先生でした。阿部先生は、応用計算を取りいれ、後日の実務検定試験へ発展させてゆかれました。

美術・書道科の先生

音楽では広岡先生、作曲から授業、部活動で大変指導力を発揮。

黒田先生は、一商生の筆跡を特徴づけてしまいました。

体育科の先生

慶応から秋山先生を迎え、翌年田中先生も来られ、体育の授業や部活動に「ユーツー」の言葉で活気を与えてくれました。

【戦後の復興と就職難】

六三三四の学制改革によって、併設中学三年で一区切りができて卒業できるようになりました。旧制で入学した私たちでしたが、家庭の事情や自営業の手伝いのためやむなくこの三年でやめる友達や夜間部に変わる人がいました。

顧みれば、終戦僅か二ケ月後の十月非軍事化と民主化の推進が行われ、天皇の人間宣言、各界指導者の公職追放が指令され、教育基本法と六三三四制の学校教育法が制定されました。独占禁止法などによる財閥解体、小作人を中心とした農地改革など矢継ぎ早に民主化の道が進められてきました。

第二次吉田内閣が長期安定政権を確立したところで、政府の国内統治力がでてきました。シャープ勧告による税制改革、一ドル360円の為替レートが設けられインフレが収拾される前夜でした。アジアでは大戦後で独立国が誕生し、朝鮮半島では南に韓国、北に北朝鮮が成立し、中国では毛沢東を主席とする中華人民共和国が成立したように、国際社会が激動した時代です。

このように、昭和二四年当時までの政治経済環境は激しく変化して、労働運動も盛んになり、GHQの命令で中止されたゼネストも企画され大変な就職難の時代でした。

就職紹介では戦前から非常に恵まれていた一商でさえ大変な状況のようでした。旧制や新制高校で卒業する就職希望者に加えて、新制中学で就職を希望する者をなんとか就職させなければなりません。しかし、戦災で就職の資料が焼失し、就職先の銀行・会社の状況が分からず、会社の人事担当者も変わっていて大変苦労をされたとのことです。台湾から引き揚げられた中島先生、三菱重工人事部から杉村先生を招き、両先生が中心となって当座の就職をなんとか収められたようです。　連日連夜就職先を訪問され、靴を修理、買換えたと言われ、給与所得者の先生にはその負担が大きかったようです。しかし、就職情報は多岐多様にわたるので、その情報の整備、就職先とのコンタクトなどこれからも大変な苦労をされたようです。

このようにして、就職難を克服され、全員就職させたとのことです。就職先は株式市場がオープンした証券会社や銀行などの金融機関、繊維など三白のメーカーが多かったようです。

世の中が真っ暗中にあって、先輩が築きあげたおかげでまた先生がたの奮闘によって就職面で一商には曙光が見えてきました。

第一章　おわり

CRAFT ART GALLERY GINZA SOLEIL

クラフト アート ギャラリー 銀座ソレイユ

ご利用案内

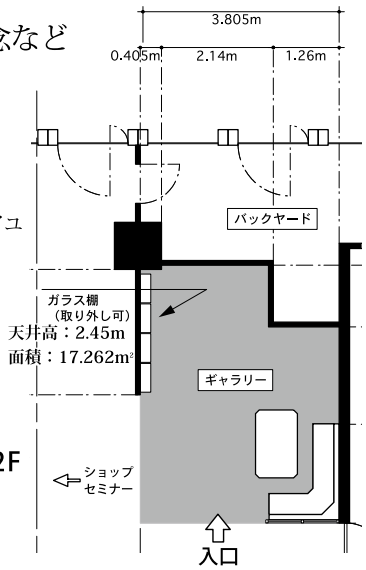
当ギャラリーは、クラフトアート、手芸、工芸、美術、絵画、出版記念など
さまざまな目的、記念展の発表や販売の場としてご使用いただけます。

（イメージ）

使用期間と時間　月曜日～土曜日（3日単位）
9:30～17:30
＊原則として、クラフトブティック銀座ソレイユの営業時間に準じます。

料金（税別）　一商同窓生限定
特別料金1日　25,000円

お問い合わせ　株式会社サン-ケイ
会長　菊池敏郎（32期）
中央区銀座1-6-2 銀座Aビル2F
（さくら通り×ガス燈通り）
TEL 03-3561-6041 お客様係



トールペインティングのパイオニア（創立1979年）ショップ＆セミナー　株式会社サン-ケイ

平成25年度 総会議事録

1. 日時・場所

平成25年6月23日（日曜日）
午後1時　アイビーホール青学会館

2. 出席会員数

57名

3. 出席役員（決議事項関係役員及び監事）

大槻實会長、菊池敏郎副会長、石田謙司副会長、山崎松夫副会長、中林雅一副会長、山本剛副会長、小林三郎監事、粕谷幸男監事、鵜沢正二監事

4. 議事の経過の要領及びその結果

会則第8条の定めるところにより、会長大槻實が議長となり、定刻開会を宣し、平成25年度定時総会を開催した。

4－1　決議事項

第1号議案　平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）
平成24年度事業報告承認の件

菊池副会長が議事資料を基にして説明後、本議案の承認を諮り、出席会員異議なく承認可決された。

第2号議案　平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）
平成24年度会計報告承認の件、同監査報告の件

山本副会長（財務副委員長）が議事資料を基にして説明後、議長が会則第7条5項の定めるところにより、監事に対し監査報告を求めたところ、粕谷幸男監事より平成24年度における収支計算書、及び貸借対照表の監査結果は、監査報告書のとおり適正である旨の報告があった後、本議案の承認を諮り、出席会員異議なく承認可決された。

第3号議案　平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）
平成25年度事業計画案承認の件

大槻会長が議事資料を基にして説明後、本議案の承認を諮り、出席会員異議なく承認可決された。

第4号議案　平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）
平成25年度収支予算案承認の件

山本副会長（財務副委員長）が議事資料を基にして説明後、本議案の承認を諮り、出席会員異議なく承認可決された。

第5号議案　母校創立100周年記念事業案承認の件

本議案の承認を諮ったが、菊池副会長は次の総会にて再提案することにした。

第6号議案　会則改訂承認の件

菊池副会長が議事資料を基にして説明後、本議案の承認を諮り、出席会員異議なく承認可決された。

第7号議案　役員改選の件

会則第6条の定めるところにより、会長の改選に当たっては大槻会長が菊池副会長を指名し、これを諮ったところ、出席会員異議なく承認可決された。監事の改選に当たっては大槻会長が小林三郎監事、粕谷幸男監事、鵜沢正二監事の再任を求め、これを諮ったところ、出席会員異議なく承認可決された。被選任者は就任を承諾した。

第8号議案　その他の事項承認の件

菊池副会長が新たに起案した死亡弔慰金規定について議事資料を基にして説明後、本議案の承認を諮ったところ、規定の名称を弔慰金規定に改訂することを前提に出席会員異議なく承認可決された。

4－2　報告事項

(1) 会報47号、48号の発行と49号の発行予定の報告を山崎広報委員長が行った。
(2) 平成25年度賛助会費
山本財務副委員長が年会費及び賛助会費の途中結果について報告を行った。
(3) 第21回東京校歌祭参加
中林親睦委員長が東京校歌祭の開催予定について報告を行った。
(4) 新理事選任
会則第6条の定めるところにより、菊池副会長が第90期生の理事選任について報告を行った。
(5) その他
菊池副会長が今期の事業計画案にあるホームカミングデーの素案について説明を行った。

5. その他

開会にあたって大槻實会長が開会の挨拶を、また、閉会に際して山田和人副校長並びに石田謙司副会長が閉会の挨拶を行った。

6. 閉　会

以上をもって、本日の議事を終了、議長は午後3時閉会を宣した。

平成25年6月23日
東京都立第一商業高等学校
同窓会定時総会
議長　会長　大槻　實

来年の総会のお知らせ

平成26年6月7日㈯ 午後3時30分～5時　会場：母校 都立一商

なお、総会の前にホームカミングデーを下記の通り開催致します。

- ●午後1時30分～2時　講演会
- ●午後2時～3時20分　在校生の演技
- ●参加費　1，000円

参加ご希望の方は同窓会事務局へご一報下さい。ホームカミングデーの無料ご招待は来年は50期（S48年卒）60歳と新卒業生（91期）の方々です。
来年から毎年6月の第1土曜日に母校一商に於て行います。毎日新聞、読売新聞㈫夕刊シティライフを注意してご覧下さい。なお、年会費、賛助会費をお支払いの方には別途お知らせしますので、ご友人等お誘い合わせの上、何卒ご参加下さい。

関西鉢山会最終回の報告

関西鉢山会は今回（第五二回）で閉会

事務局　丸山　照夫（三五期）

第五二回総会（最終回）を平成二五年五月二九日、大阪心斎橋、「大成閣」にて開催。関西鉢山会は第一回を昭和三六年（一九六一年）七月設立総会以来毎年開催してきましたが、参加者が少なくなり今回をもって閉会と致します。長い間ありがとうございました。今回の参加者は最終回の為、都合をつけて出席頂いた方が多く十七名と十年ぶりに多い参加者となりました。初めに亡くなられた先輩方を偲び黙祷を捧げ、全員から思い出話などを頂き、最後に校歌を斉唱。最終回の為、残念、寂しいとのお話が殆どでした。関西鉢山会創設者の島影恒治様（十四期）からの差入れを頂き、総会終了後、近くの喫茶店にて談笑、散会しました。最終回事務局として、閉会の報告をすることとなり申し訳ありません。ただ皆様のご協力により「関西鉢山会　五〇年のあゆみ（主に平成の二三年間）」を平成二三年一二月に発行でき関西鉢山会の記録を少しでも残せたのはよかったと思います。昨年逝去されました猪股尚治様（九期）、村西勇様（一六期）、中濱務様（二三期）のご冥福をお祈り致します。

今回の参加者は（敬称略）有澤清治（一九期）原田照男（二二期）平田栄治（二七期）浜田綽子（三〇期）杉本喜佐子（三二期）佐藤俊子（三二期）横井貞子（三二期）早川勝弘（三四期）宮田実（三五期）辻村靖子（三五期）青木佐加枝（三五期）宇治智津子（三五期）丸山照夫（三五期）鈴木正道（三九期）田中直子（四六期）西尾みず江（四六期）長谷川紀子（五五期）でした。淋しいですが関西鉢山会最終回の報告と致します。

委員会だより

（順不同・敬称略）

●歴史資料委員会（石田謙司委員長・小林直貴副委員長）

歴史資料委員会は現在5年後の一商100周年の記念誌発行に向けて資料収集に努力しておりますが、その一端としての活動状況（資料収集内容の一部）を報告いたします。

平成24年6月10日　東京商科大学一覧（国会図書館蔵）をもとに第1期から19期まで、母校から東京商大（現一橋大学）の入学者を調べる。本日は第一回目、5期まで。総数13名（但し、本籍を東京都とする者のみ）午後1時より6時まで、同窓会事務所、以下同じ）

同8月11日　6期から9期まで（同20名）
同9月1日　10期から13期まで（同58名）
同10月18日　14期から19期まで（同122名・17期は解読不明の個所あり）

3期石黒四郎、14期小瀬務は、それぞれ本籍地が広島、奈良であるため、ここにはカウントされていないから、入学者の実数はこれをはるかに超えると推測される。19期は42名という大量の入学者があり、これは当時、東京商大新入生の約10パーセントを占める。現在でも一橋大学の新入生の約10パーセントを占める高校は皆無である。

因みに、当時の受験雑誌「受験戦」によると、昭和11年の一高合格者は、府立一中38名、府立四中29名、府立五中21名、神戸中6名、開成中5名、府立一商2名で、商業高校から一高へ複数の合格者を出したのは母校一商のみ。この年、母校から東京商大へ20名以上の合格者を出している、まさに天下の一商、面目躍如たるものがある。

歴史資料購入（聖智文庫より、鈴木忠男（3期）旧蔵）

東京府立第一商業　軍事演習〈富士裾野〉（写真6葉）昭和3年
〃　軍事演習行軍〈富士裾野〉（写真5葉）昭和4年
〃　修学旅行〈中国・朝鮮〉（写真8葉）昭和4年
京城・昌徳院～奉天～哈爾浜・松花江～旅順・二〇三高地～杭州～上海日本総領事館前～東京駅（二葉）

寄贈品　寄贈者
デイ・トディ・イングリッシュ　海口　頼久（29期）
教科書　中等音楽1年、2年、3年　高橋　慎三（28期）
昭和29年同窓会名簿　山崎　松夫（46期）
東光46号―51号　佐々間圭作（18期）
吾往録　秋本　鐘（25期）
舶来屋一代

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

個人情報保護のため、
HPでは非公開と
させていただきます。

★年会費と賛助会費のお払込先　郵便振替口座番号　00100-9-664890
郵便局の振替口座あて他金融機関からの振込用口座番号　〇一九（ゼロイチキュウ）店（店番019）当座0664890
名称　都立第一商業高等学校同窓会

個人情報保護のため、
HPでは非公開と
させていただきます。

平成25年度賛助会費および年会費中間報告

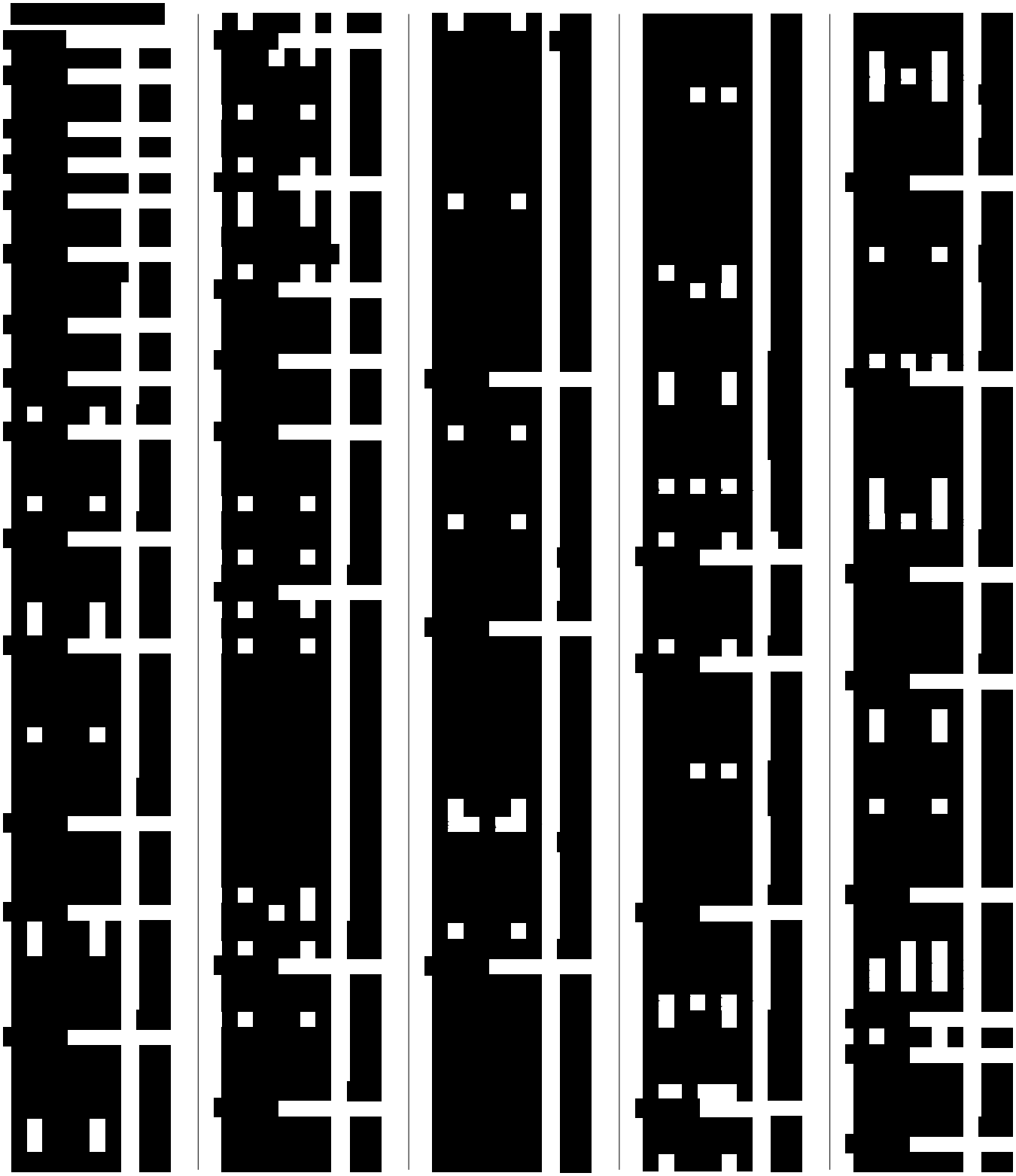
平成25年
７月末日現在

本同窓会の運営は基本的には毎年の卒業生から納入される終身会費（１人５千円）総額百万円弱を以って資金とし活動をするものですが、この金額では同窓会としての活動は困難との判断から、平成五年度より同窓生の皆さんに１口１万円の賛助会費をお願いし、歴史ある母校の同窓会が名実共に会としての運営が出来るような財源確保の制度を決めました。制度発足以来、毎年同窓生皆さんの絶大なご援助を頂き、お陰様で別掲の通り本年は3,232,332円と1,128,000円の実績をもちまして母校に相応しい同窓会に向かって進みつつあります。

そして昨年の総会後、年会費制の導入（年額2,400円）により、広く皆様にご協力をお願いする事になり、その報告も併せてさせていただきます。

この大切な資金は有効に使用すべく役員一同努力致します。

今後とも同窓会員の皆様の絶大なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。



●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

同期会・クラス会・クラブOB／OG会開催

凡例　■平成25年8月末迄に開催済
□9月以降に開催

■**20期5組クラス会（清明会）**
年月日…平成25年5月15日㈬
会　場…赤坂「青山荘」
出席者…6名
世話人…小林　伸

□**20期5組クラス会（清明会）次回開催予定**
年月日…平成26年5月頃
会　場…赤坂「青山荘」予定
世話人…小林　伸

■**23期2組クラス会**
年月日…平成25年6月9日㈫
会　場…根岸「笹乃雪」
出席者…4名
幹　事…渡邉　巽、浅井　昭治

■**23期5組クラス会（一土会）**
年月日…平成25年7月11日㈭定例会場にて
出席者…11名

□**23期5組クラス会（一土会）**
年月日…月例昼食会（8月を除き、毎月）
会　場…平成25年度
竹芝KKRホテル「リラ」
但し、平成25年12月は新宿三丁目
「鳥どり」
幹　事…家田　和利

□**一土会　一泊バス旅行**
平成25年10月28日㈪～10月26日㈫
行　先⇩裏磐梯（高円寺北口新宿よりの交
番前　10月28日午前8時30分発）
※参加者募集　23期以外の一商同窓会会員
の方、5～6名の余裕がありませすので、
是非、ご参加をお申し込みください。
幹　事…佐藤　恒夫
連絡先　TEL 03-3330-3221
FAX 03-3330-3224

■**23期7クラス会（七友会）**
年月日…平成24年
12月6日㈭
会　場…三軒茶屋
キャロットタワー
「スカイキャロット」
出席者…9名
幹　事…鈴木　實、
秋田　元一

□**23期7組クラス会（七友会）**
年月日…平成25年12月6日㈮
会　場…三軒茶屋キャロットタワー
「スカイキャロット」
世話人…代表　秋田　元一

23期七友会忘年会

■**25期5年2組クラス会**
年月日…平成25年3月12日㈫
会　場…田町「道灌かがり」
出席者…8名
幹　事…秋本　鐘

■**25期1年1組クラス会**
年月日…平成25年6月12日㈬
会　場…田町「道灌かがり」
出席者…9名
幹　事…秋本　鐘、大内　鋭一

■**29期同期会**
年月日…平成24年11月19日㈪
会　場…渋谷東急エクセルホテル
出席者…34名＋29期3年D組担任
田村　清先生ご出席
世話人…代表　青木　生夫、海口　頼久

■**29組3年F組クラス会**
（杉の子会[杉村一雄先生を偲ぶ会]）
年月日…平成25年5月20日㈪
会場…青山　レストラン「やまと」
出席者…13名
世話人…代表　宮崎　保夫

□**29期3年F組クラス会（杉の子会）**
次回開催予定
年月日…平成26年5月20日㈫
会　場…未定
世話人…代表　宮崎　保夫

■**29期3年A組クラス会**
年月日…平成25年6月12日㈬
会　場…品川駅前「ななかまど」
出席者…12名
世話人…代表　青木　生夫

■**30期D組クラス会（松友会）**
年月日…平成25年4月20日㈯
会　場…原宿　「南國酒家」
出席者…7名
世話人…大槻　實

□**30期同期会次回開催予定**
年月日…平成26年4月16日㈫午前11時～
会　場…渋谷東急エクセルホテル
世話人…大槻　實、小林　三郎

■**31期同期会（喜寿の集い）**
年月日…平成24年4月8日㈰
会　場…八重洲冨士屋ホテル
出席者…70名＋31期3年A組担任
佐藤　正先生ご出席
世話人…代表　飯泉善一郎（C組）

□**31期同期会次回開催予定（傘寿の集い）**
年月日…平成27年4月※日時未定
会場…未定（母校or母校の近くで）
世話人…代表　宮内　実太郎（E組）

■**32期3年C組クラス会**
年月日…平成24年11月30日㈫
会　場…都立小石川後楽園「涵徳亭」
出席者…12名
幹　事…吉田　清一

■**32期同期会（321会）**
年月日…平成25年3月2日㈯午後1時
会　場…銀座7丁目ライオンビアホール
出席者…41名＋21期3G担任
田村　清先生ご出席
世話人…代表　菊池　敏郎

□（32期同期会は毎年3月2日午後1時から
同じ会場にて案内状なしで321会と銘打
って開催しております。）

□**32期喜寿の会開催予定**
年月日…平成25年11月23日㈯午後1時
会　場…＝母校でのホームカミングデーに
参加＝
懇親会　原宿「南國酒家」午後5時半
世話人…代表　菊池　敏郎

■**33期3年A組クラス会**
年月日…平成25年
年1月21日㈰
会　場…
「がんこ寿司」
銀座四丁目店
出席者…15名
世話人…
飯塚　忠司

■**33期3B会**
年月日…平成24
年9月21日㈮
会　場…「住友化学参宮寮」

33期3年A組クラス会

食品カタログ通販
TVショッピング
ダイレクト通販　その他
とっておきやプレミアム
http://yom.sc/shop/8
代表取締役　大野　進（38期）
Susumu Ohno
株式会社　オージーフーズ
東京都渋谷区千駄ヶ谷5－32－7
NOF南新宿ビル2階　〒151-0051
Tel:03-5367-2327　Fax:03-5367-2328
Mobile:090-3047-0967
E-mail:ohno-susumu@aussie-fan.co.jp

オフセット印刷・デザイン・
カレンダー・帳票・封筒・名刺・etc
21世紀の印刷世界へ!
感動の息吹を皆様にお届けします
株式会社 博文堂
常務　大橋　佳夫（35期）
〒106-0044 東京都港区東麻布2-24-6
TEL　03-5114-6650
FAX　03-5571-6066

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

出席者…13名
世話人…内藤　進

□**33期3B会次回開催予定**
年月日…平成25年9月20日㈮
会　場…「住友化学参宮寮」
世話人…内藤　進

□**33期3年C組クラス会開催予定**
年月日…毎年10月乃至11月に開催
会　場…「埼玉県・大宮周辺」
［担任　川原　凌先生を囲んで］
世話人…茂木　栄三

□**34期同期会開催予定**
年月日…平成25年10月10日㈭
会　場…「中野サンプラザ」
幹　事…岩田　克夫(A組)

■**35期同期会**
年月日…平成25年6月7日㈮
会　場…NECクラブ(芝クラブ)
出席者…88名+35期H担任
田村　清先生ご出席
世話人…坂下　賢三

■**36期同期会**
年月日…平成24年10月4日㈭
会　場…グランドアーク半蔵門4階
富士西の間
出席者…90名
幹　事…代表　小森　規與志

■**37期同期会「珊瑚会」**
年月日…平成25年3月5日㈫
会　場…八重洲冨士屋ホテル
出席者…30名+37期3A担任
田村　清先生ご出席
幹　事…代表　田島　嗣也

■**37期3・H「鉢山会」**
年月日…平成25年6月1日㈯
会　場…新宿高島屋・天厨菜館
出席者…16名
世話人…代表　丹沢　栄一

□**37期3・H「鉢山会」次回開催予定**
年月日…平成26年6月7日㈯
会　場…未定
世話人…代表　大竹　英一

■**39期同期会(古希を祝う会)**
年月日…平成25年6月5日㈬
会　場…渋谷東急エクセルホテル
出席者…78名+
現　戸田勝昭一商校長先生ご出席
発起人…A組　諸星　百合子／F組　小池宜夫／C組　隅田　美枝子／F組　小谷津　欣望／E組　中澤　捷雄　G組　井上　七郎

□**39期同期会次回開催予定**
年月日…一商100周年時
(平成30年開催・詳細未定)

□**40期同期会[昭和38年卒]**
(卒業50周年記念合同クラス会)
年月日…平成25年10月10日㈬　出欠連絡は各組幹事宛　9月20日までに！
会　場…渋谷東急エクセルホテル
幹　事…A組　戸塚／B組　横田／C組　楠／D組　森下／E組　吉田／F組　持田／G組　大島／H組　関口

■**41期同期会**
年月日…平成25年1月26日㈯
会　場…四谷駅　主婦会館内
レストラン　「エフ」
出席者…30名
幹　事…山本　剛、磯部　宏次

□**41期同期会次回開催予定**
年月日…平成26年1月25日
会　場…四谷駅　主婦会館内
レストラン　「エフ」
幹　事…山本　剛、磯部　宏次

□(41期同期会は毎年1月の最終土曜日に時間・場所も同じで「個別の案内はしておりません。」開催しております。)

■**42期3年B組(金八会)**
年月日…平成25年5月26日
会　場…新丸ビル6階　「四川豆花飯荘」
出席者…19名
世話人…笠井　貴司、鵜飼　清美

□(42期・金八会は毎年定期的に五月頃開催)

■**43期同期会**
年月日…平成24年10月27日㈯
会　場…渋谷東武ホテル
出席者…73名+43期3F担任
佐々木　和子先生ご出席
+43期3H担任
田村　清先生ご出席
幹　事…代表　落合　春代

□**44期同期会**
年月日…平成25年11月23日㈯午後1時
会　場…母校でのホームカミングデーに参加
懇親会　渋谷「権八　渋谷店」
幹　事…代表　福田　智子

■**商業実践部OB会(創部85年祝賀会)**
年月日…平成25年6月8日㈯
会　場…東京ガス青山クラブ
出席者…20名
幹　事…40期　伊田勝商　(幹事持ち回り)

□(実践部OB会は毎年6月第二土曜日に実施)

□**響　会(吹奏楽部OB・OG会)創部85年祝賀会**
年月日…平成25年10月5日㈯
会　場…霞ヶ関法曹会館
世話役…石田　謙司

□(響会OB会・OG会は5年ごとに実施)

■**数学研究部OB会(創部62年)**
年月日…平成24年9月8日㈯12時～14時
会　場…東京ガス四谷クラブ
出席者…24名
(荒井淳雄先生とご夫人ご出席)
世話人…代表　梶浦　征治(36期)

□**数学研究部OB会次回開催予定**
年月日…平成25年9月7日㈯13時～15時
会　場…新宿・小田急百貨店15階「さがみ」
世話人…代表　笠倉俊夫(40期)

■**剣道部OB会(鉢剣会)**
年月日…平成24年11月16㈮～17日㈯
会　場…湯河原「四季彩」
出席者…10名
幹　事…秋田　洋、古川　静治(42期)

■**柔道部OB会(一柔会)**
年月日…平成25年4月16日㈫12時～14時
会　場…渋谷東急エクセルホテル
出席者…25名
幹　事…代表　井上　七郎(39期)

□**柔道部OB会次回開催予定**
年月日…平成26年4月16日㈬12時～14時
会　場…渋谷東急エクセルホテル
幹　事…代表　井上　七郎(39期)

■**一柔会ゴルフ部会**
年月日…平成25年5月17日㈮
コース…こだまゴルフクラブ(埼玉県)
出席者…4組
世話人…代表　坂田　潔(39期)

□**一柔会ゴルフ部会次回開催予定(30回記念大会)**
年月日…平成25年10月16日㈬～17日㈭
コース…小幡郷ゴルフクラブ(群馬県)
世話人…代表　坂田　潔(39期)

一商同窓会会報　企業広告のお願い

サイズ：名刺広告　左右30mm×天地　56mm　¥ 3,000
モノクロ(1／8)左右　88mm×天地　56mm　¥10,000
(1／4)左右180mm×天地　56mm　¥18,000
(1／2)左右180mm×天地120mm　¥35,000
原　稿：完全原稿でお願いします。
送り先：同窓会事務局
〒100-0048　東京都千代田区神田司町2-17-5
上田司町ビル5F
電話：03－3291－3128
Fax：03－5577－4238　E-mail：info@isshou.jp
お支払：後日請求書を送らせていただきます。

税理士
行政書士
山本剛事務所
所長　山本　剛(41期)
東京都千代田区丸の内二丁目5番2号
三菱ビル9階 957区－B　〒100-0005
電　話　(03)3284－1941(代)
FAX　(03)3214－3520

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

平成24年度　都立一商同窓会　会計報告

●収支計算書（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：円）

収入の部	予算額	決算額	差異(予算−決算)
終身会費収入	950,000	940,000	10,000
総会・同窓生の集い収入	300,000	222,000	78,000
年会費	1,320,000	1,132,800	187,200
賛助会費収入	2,300,000	4,330,035	△2,030,035
事務受託収入	360,000	360,000	0
受取利息	60,000	54,439	5,561
広告料収入	0	70,000	△70,000
当年度収入合計（A）	5,290,000	7,109,274	△1,819,274
前年度繰越収支差額	5,757,251	5,757,251	0
収入合計（B）	11,047,251	12,866,525	△1,819,274

支出の部	予算額	決算額	差異(予算−決算)
生徒募集費補助	300,000	293,945	6,055
就職対策費補助	80,000	51,715	28,285
部活動奨励費	200,000	144,950	55,050
資格取得費補助	200,000	200,040	△40
総会・同窓生の集い費	400,000	389,416	10,584
会報費	610,000	729,225	△119,225
会報発送費	900,000	1,211,694	△311,694
校歌祭参加費	200,000	174,821	25,179
諸行事祝金	50,000	100,000	△50,000
慶弔費	50,000	131,500	△81,500
通信費	250,000	147,953	102,047
消耗品費	400,000	339,440	60,560
賛助会費募集費	50,000	74,970	△24,970
振込手数料	130,000	84,532	45,468
事務所費	900,000	900,000	0
事務費	1,200,000	1,354,500	△154,500
組織強化費	50,000	0	50,000
会議費	200,000	136,483	63,517
雑費	100,000	34,278	65,722
交通費	50,000	65,140	△15,140
周年行事積立費	300,000	900,000	△600,000
当年度支出合計（C）	6,620,000	7,464,602	△844,602
当年度収支差額(A)−(C)	△1,330,000	△355,328	△974,672
次年度繰越収支差額(B)−(C)	4,427,251	5,401,923	△974,672

●貸借対照表（平成25年3月31日現在）

（単位：円）

科目	金額	
Ⅰ　資産の部		
預金		
現金	105,321	
普通預金(三菱東京UFJ神田駅前支店)	1,895,208	
普通預金(三菱東京UFJ渋谷中央支店)	0	2,000,529
基金引当資産		
振替貯金	81,940	
周年行事積立預金(ゆうちょ銀行)	1,200,000	
定期預金(三菱東京UFJ神田駅前支店)	8,099,468	
定期預金（ゆうちょ銀行）	3,000,000	
普通預金(三菱東京UFJ渋谷中央支店)	506,954	
利付国債（No.269）	5,000,000	17,888,362
流動資産		
未収入金	61,105	
前払費用	142,030	203,135
資産合計		20,092,026
Ⅱ　負債		
未払金	1,974	
前受金		
次年度以降年会費	45,600	
次年度分賛助会費	10,000	57,574
Ⅲ　正味財産の部		
1　基金		
前年度繰越額	13,432,529	
当年度増加額	0	13,432,529
2　周年行事積立金		
前年度繰越額	300,000	
当年度増加額	900,000	1,200,000
3　次年度繰越金		
前年度繰越額	5,757,251	
当年度増加額	△ 355,328	5,401,923
正味財産合計		20,092,026

平成24年度　都立一商奨学会　会計報告

●収支計算書（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：円）

収入の部	予算額	決算額	差異
当年度収入合計（A）	2,244,700	2,244,766	66
前年度繰越収支差額	13,663,307	13,660,007	−3,300
収入合計（B）	15,908,007	15,904,773	−3,234

支出の部	予算額	決算額	差異
奨学金	2,160,000	2,130,000	30,000
奨学金振込手数料等	63,000	62,900	100
会議費	5,000	0	5,000
交通費	20,000	16,000	4,000
当年度支出合計（C）	2,248,000	2,208,900	39,100
当年度収支差額(A−C)	−3,300	35,866	−39,034
年度繰越収支差額(B−C)	13,660,007	13,695,873	−35,866

●貸借対照表（平成25年3月31日現在）

（単位：円）

科目	金額	
Ⅰ　資産の部		
預金		
普通預金(りそな・渋谷)		3,700,373
定期預金(りそな・渋谷)		10,000,000
基金引当資産		
30年国債（大和証券）		145,250,000
資産合計		158,950,373
Ⅱ　正味財産の部		
1　基金		145,320,000
2　次年度繰越金		
前年度繰越額	13,660,007	
当年度増加額	35,866	13,695,873
正味財産合計		159,015,873

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

平成25年度　都立一商同窓会　収支予算

（平成25年４月１日～平成26年３月31日）　（単位：円）

収入の部	予算額
終身会費収入	950,000
年会費収入	2,000,000
賛助会費収入	3,500,000
同窓生の集い収入	400,000
事務受託収入	360,000
広告料収入	250,000
受取利息	60,000
当年度収入合計（A）	7,520,000
前年度繰越額	5,401,923
収入合計（B）	12,921,923

支出の部	予算額
生徒募集支援	300,000
就職対策支援	80,000
部活動奨励費	300,000
資格取得支援	200,000
東日本大震災支援	120,000
総会・集い費	800,000
会報制作費	1,140,000
会報発送費	2,320,000
賛助会費募集費	140,000
歴史資料収集費	200,000
記念誌編集費	100,000
校歌祭参加費	150,000
事務所費	1,020,000
事務費	1,360,000
交通費	200,000
会議費	200,000
諸行事祝金	50,000
慶弔費	150,000
通信費	250,000
消耗品費	400,000
振込手数料	200,000
雑費	100,000
周年行事積立費	300,000
当年度支出合計（C）	10,080,000
当年度収支差額（A）－（C）	△2,560,000
次年度繰越金（B）－（C）	2,841,923

監査報告書

都立第一商業高等学校同窓会の平成24年度（平成24年４月１日～平成25年３月31日）の収支計算書及び同年度末の貸借対照表は、監査の結果、適正かつ妥当に作成されているものと認めます。

平成25年５月22日

都立第一商業高等学校同窓会

監事　小林三郎（30期）
監事　粕谷幸男（45期）
監事　鵜澤正二（45期）

平成25年度　都立一商奨学会　収支予算

（平成25年４月１日～平成26年３月31日）　（単位：円）

収入の部	予算額
受取利息（国債）注）	2,240,000
受取利息（定期）	4,000
受取利息（普通）	700
当年度収入合計（A）	2,244,700
前年度繰越収支差額	13,695,073
収入合計（B）	15,939,773

支出の部	予算額
奨学金	2,160,000
奨学金振込み等手数料	63,000
会議費	5,000
交通費	20,000
当年度支出合計（C）	2,248,000
当年度収支差額（A－C）	－3,300
年度繰越収支差額（B－C）	13,691,773

注）140,000,000×0.02÷2＝1,400,000（利率2.0%）
所得税額210,000及び地方税額70,000を引いた額1,120,000が受取額となる。（６・12月）

監査報告書

都立一商奨学会の平成24年度（平成24年４月１日～平成25年３月31日）の収支計算書及び同年度末の貸借対照表は、監査の結果、適正かつ妥当に作成されているものと認めます。

平成25年５月22日

都立第一商業高等学校同窓会

同窓会監事　小林三郎　粕谷幸男
鵜澤正二
PTA会計監査　駒澤靖子　奈良里江子

都立一商奨学会について

「田園家塾」の処分が基となり、同窓会、PTA、学校の三者により基金１億３千万円の運用で毎年奨学金を支給しており平成24年度は36名に学費援助を行いました。

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

第1回ホームカミングデーのお知らせ

ホームカミングデーとは卒業生が母校に集い母校愛と友情を確認しあう集まりで、我が同窓会では今回が初めての開催となります。
皆さん多数のご参加をお待ち申し上げます。

日　時　平成25年11月23日（土）
午後２時から４時30分
１時　受付開始
１時20分　校内見学会
２時　開会

会　場　母校、都立第一商業高等学校
メインアリーナ（渋谷区鉢山町8−1）

参加申込　同封申込用紙をご利用下さい。
名札その他準備の都合もあり、必ず事前に申込をお願いします。
締め切りは11月11日です。

参加費　１，０００円（当日受付にて集金）
飲物とお菓子の用意を致します。

無料ご招待
今回は昭和47年卒（49期）の還暦を迎える方々を無料ご招待します。

催しもの
- **校内見学会**
  参加ご希望の方は受付を済ませ１時20分に正面玄関に集合して下さい。
- **講演会「水について」**
  講師　安見昭雄氏（31期）
  住友化学工業㈱入社後、現在は泉興産㈱専務取締役
- **在校生演技**
  軽音楽部、ダンス部、バトン部、ブレイクダンス部

当日、32期（昭和30年卒）と44期（昭和42年卒）の方達は外部の別会場で同期会を開催されます。ぜひ、このホームカミングデーをクラス会、同期会等の前段の行事としてご利用下さい。
懐かしの母校見学会の後のクラス会、いいと思います。
幹事の皆さん、よろしくお願いします。
お問合せは同窓会事務局へお願いします。
０３−３２９１−３１２８

もう一つの同窓会について

私は昭和33年に三菱銀行（現三菱東京ＵＦＪ銀行）入社しましたが、その6月に三菱銀行在勤の一商卒業生による「一銀会」という同窓会に出席しました。
第1期卒業の大先輩を始め要職にある方々や若手の行員まで約80人が揃った盛大な会でした。その後も毎年開かれる「一銀会」は暖かいが厳しい忠告や助言をいただける大変ありがたい同窓会で、時には一泊温泉旅行やゴルフ会など楽しいお付き合いもあり銀行員生活の中での「一銀会」は有意義でした。
ところが結成から80年を経た近年は会員の高齢化と若手会員との交流不足などで定例会合の出席者減少が止まらず、今年を最後に活動を停止することといたしました。
ご指導いただいた多くの先輩たちには、この10年「一銀会」の運営に関わつた者のひとりとして申し訳なく思い、また残念でございました。
活動停止にあたり僅かですが会費の残額を、今年最後の「一銀会」にご出席の15名の皆様のご同意を得て、「三菱銀行一銀会」として同窓会賛助会費へ納入いたしました。

平成二五年六月二五日
35期　佐野光也　記

同窓会宛「長寿の祝い」拝受御礼

一商同窓会では今年度から、長寿を迎えられた方で同窓会総会に出席いただいた同窓生に対して、敬意を表するため、会長名で「長寿の祝い」を授与させていただくこととし、総会後の「同窓生の集い」の冒頭、会長から対象の方に（今回は最初の試みであったため88歳以上の16期・内貴直次、17期・吉田謙、19期・上原庸行の3名の方）に授与させていただきましたところ、お礼状を頂戴いたしましたので、ここに掲載させていただきます。

〝六月二三日の同窓会総会に出席して〟

大槻会長様
平成二十五年六月二十三日を忘れえません。
懐かしの府立一商会に出席して、先ず温かい会長様の歓迎を頂き、「寿録」数冊の想い出や長寿の祝いや花束と身に余る感激や最后の挨拶まで幸福で一杯でした。母校の方達にこんな好意を頂くとは、今まで生恥を晒す引込思案が悔やまれました。
二十四歳で立派に戦死すべく、敵弾の矢面に立ち乍ら、敵陣に潜入して、銃弾を受けても死なず、砲弾、爆弾の雨に（生埋め）あった時も、「君には神がついている。」戦友の言の如く。更に、悪性マラリア菌には抗しきれず、骨と皮のミイラ状に、サラバと人事不省に陥り、アノ世に行ってきました。靖国の空から舞い戻った見苦しさを恥じて一商会にも出ませんでした。
でも、最后のひと時と敢えて参じました。
本当に感謝の外ありません。皆様によろしくお伝え下さい。寿録再読、懐かしくてなりません。
内貴　拝
平成25年6月24日付　16期　内貴直次氏より

楽譜寄贈

平成25年5月23日大田区、平山栄子（49期）さんよりフルートを寄贈して頂き学校へお届けしています。

〝お礼のことば〟
この度はフルートを寄贈して下さり、ありがとうございました。
私達吹奏楽部は1年生4人、2年生2人、3年生1人の計7人で活動しています。人数

富里ゴルフ倶楽部
千葉県山武郡芝山町
小原子773

カレドニアン・ゴルフクラブ
千葉県山武郡横芝光町
長倉1658

都心より車で1時間足らずのアクセス、
成田空港第2ターミナルから各コースへの送迎バスがあります。
一商同窓生には優待プレー料金のご用意があります。
詳しくは各コースのホームページをご覧下さい。

〒102-0083　東京都千代田区麹町1−7 相互半蔵門ビル8階
東京グリーン富里カレドニアン株式会社
代表取締役会長　早川治良（31期）
TEL 03-3237-8411　FAX 03-3237-8417

保険調剤
有限会社 **おおつき薬局**
代表取締役　大槻　實（30期）
〒173-0014 東京都板橋区大山東町58の19
電　話（03）3579−3889番
電話・FAX（03）3579−3881番
（自宅）
〒274-0063 船橋市習志野台４の70の４
電話・FAX（047）467−3168番

- 一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
- 「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

鉢山俳句会

昨年六月に発足した当句会は、原則として奇数月の第一月曜日の午後句会を開催しており、本年七月で八回を数えることとなりました。

定例句会は、各自が兼題（予め決めた季題）で二句、自由題で一句の計三句を提出し、選句と選評を和やかな零囲気の中で行なっております。ときには吟行句会（外へ出掛けての作句、句会）も行っております。

俳句は一人でも楽しめますが、仲間とお互いの句を選んだり、批評し合うことによって一層楽しみが増え、上達につながるものと考えます。

現在、会員は八名と少人数ですので、もう少し仲間を増やし更に充実した句会にして行きたいと望んでおります。俳句にご興味をお持ちの方は、ぜひ当句会を覗いてみて下さい。見学も大歓迎です。

なお照会・連絡は、次の世話人のいずれかへお願いいたします。

垂井　道夫（28期）
現代俳句協会会員、
俳句結社　麦の会　同人、
俳句結社　奔流　同人、
俳句結社　丘の会　代表
連絡先　〒145-0065
東京都大田区東雪谷2―3―9
TEL&FAX
03―3726―3169

飯泉善一郎（31期）
NHK学園俳句の会会員
昭和58年　NHK学園俳句入門講座受講
昭和59年　NHK学園俳句友の会発足に伴い入会、現在に至る
平成7年～16年　NHK学園俳句友の会有志による合同句集『くにたち』（第5集～第14集）に参加
平成12年～22年　中央大学学員会中央俳壇合同句集『薫風』（創刊号～創刊十周年記念号）に参加
平成17年4月　句集『風見鶏』刊行
平成22年3月　句集「阿吽の獅子」発行
連絡先　〒158-0094
東京都世田谷区玉川2―7―1
TEL&FAX
03―3707―5586

（ご参考）当句会に出された句を何句か並べてみました。

◎赤門を　五月の風と共に抜け
◎あのときも　あのことも過去　遠花火
◎水音の　とどろくところ　初もみじ
◎雪烈し　鴟川面を低く　飛び

「ウォーキングの会」創設

（目的）同窓会会員及び家族・友人の親睦と健康
（企画）年四回程度の日帰り。自然を楽しみ、歴史をたずね、個性ある街のプラット散歩など
〈最初のプラン〉
来年春秋四回の通しテーマ
「多摩川を溯る」50キロ（一回12～14K）
（リバーサイドの歩行者専用道路）
（参加登録のお願い）
準備の都合等のため予め登録をお願いします。
同窓会事務局
FAX　03―5577―4238
企画委員会　佐藤房子

一商百周年誌編纂担当より、歴史資料のご提供お願い

母校にかかわる歴史資料がありましたら、ぜひお送りください。コピーでも可。
〒101―0048
千代田区神田司町2―17―5
上田司町ビル5F
都立一商同窓会　歴史資料委員会宛

楽器の母校への寄付願い

お手持ちの楽器を母校にご寄付願えませんか。同窓会事務局までご連絡下さい。

は少ないですが、様々な行事で活躍しています。今年度は4月に新入生歓迎会、5月にスポーツ大会、9月には老人ホームへ訪問演奏会と一商祭があります。

昨年度よりも人数が増えたので、今年度は1月に行われるアンサンブルコンテストに出場する予定です。昨年度よりも、力を入れて練習に励もうと思います。ですので、今後とも第一商業高等学校吹奏楽部をよろしくお願いいたします。この度は、本当にありがとうございました。

吹奏楽部員一同

総合不動産賃貸業
株式会社 サンワエース
会　長　白川　健二（35期）
代表取締役　白川　優二
〒101-0065 東京都千代田区西神田２－７－14
YS西神田ビル 3階
TEL. 03-5226-5471
FAX. 03-5226-6981

税理士法人　さかした
代表社員 税理士　坂下　賢三（35期）
代表社員 公認会計士　坂下　幸之
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6
PHONE. 03-3254-3021
FAX. 03-3254-3022
e-mail kenz.52@sakashitax.com

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。

平成25年度 第21回 東京校歌祭

10月5日（土）
於・日比谷公会堂

東京校歌祭に参加しませんか

東京校歌祭の第一回開催は平成5年に東京都旧制中学の卒業生が一年に一度集い、母校の校歌を歌いましようという趣旨で始まりました。

我が校は第五回から参加しております。

昨年も10月6日㈯日比谷公会堂で第20回東京校歌祭が開催され、我が一商からは50名を超える同窓生が参加し、校歌「都の空」、そして学生歌の「あ、一商」を声高らかに歌いました。

本年の開催日程等は次の通りであります。多くの方のご参加をお待ちしております。

参加ご希望の方は、9月17日までに同窓会事務所宛校歌祭・懇親会・リハーサルそれぞれごとにお申込み下さい（なお、当日の校歌祭全体司会を実行委員会委員である松森世津子氏が担当いたします）。

記

一、日時
平成25年10月5日㈯　午後1時
集合
二、会場
日比谷公会堂・受付
【校歌祭終了後】
三、懇親会会場
ニュートーキョー数寄屋橋本店
電話（3572）3848
会費　4千円
（懇親会参加・不参加は自由）
四、リハーサル
日時　平成25年9月21日㈯
午後2時～4時
場所　母校一商　一階音楽室
※校歌祭参加予定者は出来るだけご参加下さい。
※リハーサル当日、校歌・学生歌の二曲が入ったCDを200円でお分けします。

校歌祭実行委員会
監事・山本　剛（41期）
委員・菊池　敏郎（32期）
・松森世津子（41期）
・芥川　英子（41期）
・佐藤　房子（42期）

第20回東京校歌祭に参加したメンバー

企業経営者、人事ご担当の方へ

卒業生を採用してください。ご連絡は下記までお願いします。
学　校　☎03―3463―2606
又は同窓会事務局　☎03―3291―3128

事務局での人材募集

①**会報等の編集委員**（取材費・交通費実費支給あり）
②**事務局勤務**
PC堪能な方
来春4月に渋谷に事務局を移転します。
移転後からの勤務可能な方
平日㈪～㈮午後1時～5時、日数・勤務時間は応相談
時給千円・交通費実費支給
③**ホームページ管理**（作業方法等応相談）
事務局　03―3291―3128

第三回　都立一商高等学校同窓会ゴルフコンペ

開催日　平成25年11月12日（火曜日）
開催場所　こだまゴルフクラブ
費用　プレー代　一四〇〇〇円
（キャディ付・パーティ代等含む）
〒367―0203
埼玉県本庄市児玉町入浅見1060番
TEL 0495―72―5151
申込締切日　10月10日（木曜日）
＊グループ参加歓迎・お一人様でもご参加になれます。
資料ご希望の方はお申出下さい。
（世話人代表　小林　三郎（30期））
●お申込みFAX番号
03―3291―3128
同窓会事務局まで

訃報

本同窓会の相談役船津忠正氏（13期）が本年5月18日ご逝去されました。（享年95歳）元同窓会副会長・同窓会会報編集長・一商響会（吹奏楽部OB・OG会）代表幹事
謹んで哀悼の意を表します。

編集室から

前号で、通い慣れた渋谷駅が地下に潜ってしまった等世の中の変化に遅れないよう我が同窓会事務所に新しくファクス受信システムが導入されたと自慢げに申し上げました。そしたら今度はもっと大きな変化が。同窓会の会長が大槻さんから菊池さんに代わったのです。前会長より二つ若い新会長。次々と新しい矢を放っておられます。それはまるでどこかの国の総理大臣のよう。その方策名をまねた訳ではありませんが、我が同窓会でも名付けて「キクチノミクス」。その第一の矢がこの秋に開催の「ホームカミングデー」。何じゃそりゃ？横文字は嫌いだ、なんて言わないで。詳しくは今号に開催予告記事と新会長のメッセージに説明が載っています。新会長の熱い思いを、その情熱を、皆で応援しましょうよ。まずは行事に参加して下さい。ひとつよろしく。

はちやま　第四十九号
平成二十五年九月一日発行
編　集　同窓会広報委員会
発行者　同窓会会長　菊池　敏郎
都立一商同窓会　〒101―0048
東京都千代田区神田司町二―一七―五
上田司町ビル五階
TEL　〇三―三二九一―三一二八
FAX　〇三―五五七七―四二三八
ホームページ　http://www.isshou.jp/
E-mail：info@isshou.jp
印刷所　㈱博文堂

●一商同窓会の活動は皆様の賛助会費と年会費で運営されております。
●「都立一商同窓会」のホームページをご覧下さい。